

生涯教育・生涯学習の実践が集う

中国・四国・九州地区

生涯教育 第43回大会 実践研究交流会

期 日

令和8年 5月16日(土)・17日(日)

〔情報交換会5月15日(金)〕

場 所

福岡県立社会教育総合センター

(福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2)

TEL:092-947-3512 FAX:092-947-8029

日程・プログラム

前日 5.15 FRI	19:00	20:00	20:30	1日目 5.16 SAT	9:15	10:00	10:30	12:20	13:10	13:50	15:40
	情報交換会	実行委員会			受付	開会式	実践発表①	昼食	受付	実践発表②	
移動	16:00	16:30	17:00	19:00	2日目 5.17 SUN	8:30	9:00	11:30	12:00		
	特別報告 「社会教育って何だったのか —ごく個人的な経験と思い—」 報告者 鈴木 眞理 (青山学院大学名誉教授)	第43回 大会交流会		フリータイム		受付	特別企画 子ども・若者の発達と自立を支援する ～何をめざすのか、そのために何をどうするのか～ 【第1部】「どんな境遇の子ども・若者も見捨てない ～「声なき SOS」を受けとめる伴走型支援の現在とこれから～」 登壇者 谷口 仁史 (認定NPO法人スチューデント・サポート・フェイス代表理事) 聞き手 古市 勝也 (九州共立大学名誉教授) 大島 まな (公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム理事長、 九州女子大学名誉教授)	総括 閉会式	昼食		

主催 福岡県教育委員会 日本生涯教育学会九州支部
主管 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会第43回大会実行委員会
福岡県立社会教育総合センター
協力 風社の会 (福岡県社会教育関係者の会)

テーマ:子ども・若者の自立と発達支援のあり方を問う

子どもの健やかな成長・発達には、教育関係者のみならず誰もが願っていることでしょう。残念ながら、不登校、暴力行為・いじめ、自殺した児童生徒を示す数字は深刻です。うつや摂食障害などの精神疾患も10代で増えています。一見「普通」の子どもたちも、スマホ・PCの長時間使用(ネット・ゲーム・SNS依存)、それに伴う生活リズムの乱れ、リアルな遊びや体験の不足など、心配な実態があります。コロナ禍は状況をさらに悪化させました。

親や教師など大人の保護や助けがないと一人では生きていけない子どもたちも、やがては自分の足で立ってこの世をわたっていかなければなりません。子育てが目指すところは「自立」といいよいでしょう。自立を支える「生きる力」の育成には、体験が欠かせません。しかし、社会や生活の変化、過保護の風潮(あるいは虐待)などによって、多くの子どもが、大事な体験を欠いたまま大きくなっています。自立できない若者が増えています。本大会では、教育処方の一つとして、自立に必要な力を育む体験(たとえば、自主・自律、協力・共同生活、困難への挑戦など)を意図的に盛り込んだ「欠損体験の補完」プログラムを、これまでも提案してきました。

教育機会確保法(2016年)とその後の「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(2023年)では、民間とも連携しながら学校内外で一人一人に合った多様な学びの場を整備する、学校に登校することのみを目標にするのではなく、子どもたちが「社会的自立」を図れるように支援するとしています。学校であれ第三の「居場所」であれ、「社会的自立」を目指すことが重要としているのです。そこに、どのような「自立のトレーニング」プログラムがあるのか、その支援体制はどうするのかが問われています。

自立に向かう発達支援のあり方はすべての子どもたちの問題です。学校、家庭、地域(民間団体含む)には何が求められるのか、何が大切なのか、社会教育は何ができるのか、改めて考えたいと特別企画を設定しました。

今年も「未来を展望する素材」となる24事例が集まりました。子どもの発達を支援し、自立を促す取組、地域の人づくり・つながりづくりに奮闘されている実践の数々に勇気づけられます。ご推薦いただいた各県実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

本会をご支援・ご指導くださいます福岡県教育委員会、福岡県立社会教育総合センターに厚く御礼申し上げます。

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 代表世話人 大島 まな

5/15
(金)

情報交換会 19:00~

大会前夜からの参加者、各県実行委員会の皆さまとの情報交換の場です。一緒に食事をとりながら、ゆっくりと御歓談ください。

5/16
(土)

開会式 10:00~10:30 講堂

午前 実践発表① 10:30~12:20

第1会場
第4研修室

- こどもも大人も社会も well-being ~ユースセンターまあぶるの取組から~ 森年 雅子(岡山県真庭市)
- こども対象事業を通じた地域の担い手づくり 中村 淳子・藤田 玲子(福岡県福岡市)
- 子どもをまん中に据えた地域学校協働活動の推進 ~五者連携による取組の充実を通して~ 東 伸一郎(熊本県阿蘇市)

第2会場
自由研修室

- えっ!何で国境離島に日本語学校? ~実は地域共創へのワンピ~ 山上 福範(長崎県五島市)
- 子どもたちの「やってみたい!」に「YES」で答えるサークル「SAY YES」 松原 裕(鳥取県西伯郡伯耆町)
- 親子と地域がつながる体験機会の創出 内田 昭弘(鹿児島県南さつま市)
~「家族でチャレンジ in 南さつま」と「親子で楽しむ作文教室」~

第3会場
視聴覚室

- 「ばーらーうがんも」地域の公園で交流の場づくり 儀間 千恵(沖縄県島尻郡南風原町)
- 図書館がまちを元気にする! ~本に興味がある人もない人も集う交流の場~ 城本 直子(佐賀県三養基郡基山町)
- コーヒー一杯で学習を ~むなかた市民学習ネットワークの40年のあゆみ~ 小野 誠(福岡県宗像市)

第4会場
大研修室

- みんなの居場所は街の雑貨屋さん 前田 香織(福岡県柳川市)
~地域コミュニティの力を生かした多世代交流の居場所づくり~
- 学校と公民館の一体化 ~世代をつなぎ、地域を耕す~ 岩坂 菜月・谷本 のぞみ(島根県益田市)
- 子ども会組織の消滅危機を巡って 鶴木 孝夫(鹿児島県始良市)
~子ども会加入100%達成と地域の工夫・実践~

ふるさと自慢ポスター展

あなたのまちの「むらおこし」「まちづくり」「ひとづくり」などのイベントポスターやチラシで、故郷自慢を広くアピールしませんか?

- 参加資格 誰でも展示できます。
- 出品数 1イベント1点
- 提出方法 大会当日受付にてお申し出ください。
- 留意事項 ポスター・チラシに限ります。展示品は返却できません。

午後 実践発表② 13:50~15:40

第1会場
第4研修室

- 「ふるさと」を問い続ける 学生団体ブーメランカレッジの挑戦
～中高生対象の合宿プログラムの工夫と展望～ 井上 弘一朗・高田 貞治・濱遊 玲音(愛媛県南予地域)
- 主体的に地域づくりに参画する「あぶ PRIDE」の育成をめざして 守永 弘志(山口県阿武郡阿武町)
- 自分らしく社会に関わる若者が育つ3ステップ～居場所・ボランティア・探究～ 城所 佑志(鳥根県邑智郡川本町)

第2会場
自由研修室

- 明野次世代の会『明野想成塾』の挑戦 和氣 勇一(大分県大分市)
～明野創生 50年から次の50年へ、世代を繋ぎ、よりよいまちづくりを目指して～
- “伝える平和学習”から“伝わる平和学習”へ 樺島 由彬(福岡県北九州市)
～「今日からどのように生きるか」を考える学びの創出～
- 棚田の景観を再生「ときめく棚田大作戦」に挑戦 和田 あいこ(山口県長門市)

第3会場
視聴覚室

- 子どもたちに豊かな放課後の時間を 梶嶋 謙治(福岡県飯塚市)
- ヤバイんじゃない!?自分の心・思いを素直に発信できないなんて 櫻井 真実(熊本県熊本市)
～「本当の自分の思い」→「見える化」実現!～
- 科学教育ボランティアの取組 楯木 満(宮崎県宮崎市)

第4会場
大研修室

- 遠隔2市町の社会教育施設が連携・協働した子供たちの学びの場づくり 林 聖人(広島県尾道市)・赤木 弘史(広島県神石郡神石高原町)
- WAI☆WAI☆りびんぐマルシェ 松尾 秀樹(佐賀県佐賀市)
～不登校やひきこもり等の背景をもつ子ども・若者によりそい、自立をめざした就労準備のためのプロジェクト型の継続支援の場～
- 福岡県国公立青少年教育4施設連携協働事業「ふくおかぎっずアドベンチャーキャンプ」 姫野 大夢(福岡県福岡市)

特別報告 16:00~16:30 講堂

「社会教育って何だったのかーごく個人的な経験と想い」

報告者 鈴木 眞理(青山学院大学名誉教授)

第43回大会交流会 17:00~19:00 体育館

参加者、事例発表者、各県実行委員会の皆さまが一堂に会して、交流を深める場です。
以下の内容で実施します。たくさんの方々の御参加をお待ちしています。

食事、各都道府県の紹介、歓談(名刺交換)、おらがまちの名物自慢(特産品)オークション

5/17(日)

第43回大会 特別企画 9:00~11:30 講堂

「子ども・若者の発達と自立を支援する
～何をめざすのか、そのために何をどうするのか～」

第1部 「どんな境遇の子ども・若者も見捨てない

～『声なき SOS』を受けとめる伴走型支援の現在とこれから～

登壇者 谷口 仁史(認定NPO法人スチューデント・サポート・フェイス代表理事)
聞き手 古市 勝也(九州共立大学名誉教授)
大島 まな(公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム理事長、九州女子大学名誉教授)

第2部 「社会教育と連携した学校のプログラム改革

～長期宿泊学習(4泊5日)がもたらす学びの質的転換～

登壇者 益田 茂(福岡県添田町教育委員会教育指導主事)
白土 智章(福岡県立英彦山青年の家研修課長・社会教育主事)
聞き手 森本 精造(元飯塚市教育委員会教育長)
菊川 律子(放送大学名誉教授・社会教育士)

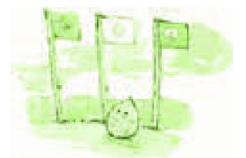
総括閉会式 11:30~12:00 講堂

「おらがまちの名物自慢」

あなたのまちの名物は何ですか?地酒・焼酎・海産物・お菓子……。毎回、参加者がお国自慢の品々を持ち寄る「おらがまちの名物自慢」。「オークション」での競売を行います。大会当日、専用受付にて、所属・氏名・特産品名・セールスポイント・設定金額等を御記入いただき、お預けください。

たくさんのお参加、お待ちしております。

※「生もの」や「手作り雑貨」の出品は、なるべく御遠慮ください。



【参加費等】

- ① 大会参加費は、16日(土)・17日(日)両日参加、16日(土)のみの参加の方は、2,000円(学生1,000円)、17日(日)のみ参加の方は1,000円(学生500円)です。
- ② 宿泊代(シーツ代)は、宿泊数に関係なく一律300円です。
- ③ 15日(金)の情報交換会の参加費は、3,000円(学生1,000円)です。
- ④ 16日(土)の大会交流会の参加費は、4,000円(学生2,000円)です。
- ⑤ 食堂の御利用は、朝食600円、昼食700円(事前予約)です。
なお、5月16日(土)の昼食のメニューはカレーとさせていただきます。(苦手な方は、各自でご準備ください。)それ以外は、セルフサービス形式での提供となります。
※ 当日の受付にておつりが生じないように御準備ください。

【申込方法】電子申請(福岡県立社会教育総合センターホームページ)…右下二次元コードからお申込みください。

申込内容の漏れ等を防ぐため、電子申請による手続きでのお申し込みをお願いしております。
なお、電子申請が御不安な方は、直接お電話ください。入力方法の説明や、代行入力をします。
お困りの際や、団体でのお申込等は、一度ご連絡ください。

※申込締切 令和8年5月6日(水)

※締切以降は、「当日参加」の受付となります。

「当日参加」は、宿泊と食堂での朝食・昼食がご利用いただけません。(情報交換会・大会交流会は当日でもお申し込みいただけます。)

※手話通訳を御希望の方は、備考欄に記入されるか、電話、メール等で事前にお申し出ください。



【申込の手引き】

1 QRコードを読み取る 	2 リンク先をおす(黄色) 	3 項目にそって入力 	4 一番下まで入力「確認」をおす 	5 内容を確認める
6 内容を確認める(下まで見る) 	7 チェックを入れて「送信」をおす 	8 送信完了 	9 内容確認メールを受信 	申込完了

【留意事項】

- ① 食事のキャンセルは、**申込締切日(5/6)**までです。**キャンセルの連絡がない場合、お申込みいただいた食費(情報交換会・大会交流会も含む)をお支払いいただきます。**
- ② 宿泊場所は当センター併設の「少年自然の家」です。タオル・歯ブラシ、スリッパ等、身の回りの品は御持参ください。石けん・シャンプーは浴場に設置しています。
- ③ 領収書は受付にてお申し付けください。

お問い合わせ先

福岡県立社会教育総合センター 調査・研修班 〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2
TEL:092-947-3512 FAX:092-947-8029 E-mail:chosa-kenshu@pref.fukuoka.lg.jp